

葉山町合唱連盟による葉山町歌の解説

【一番】

一番は「葉山の海」を歌っています。

葉山森戸海岸に立つとその周囲には緑の葉山の山々が、その眼前には青く広がる海が、お天気の良い時には「けざやか」に富士山がそびえています。そして、その手前には「名島」が見えます。作詞者の堀口大學先生は「あの辺りに竜宮城」があるのでしょうか、と詠んでいます。

【二番】

二番は葉山の「花」を歌っています。

役場前の「花の木公園」では春には炎の様に「紅つつじ」が咲き誇り、「あじさい公園」では「似紫（にせむらさき）」(注釈)の「紫陽花」が咲きます。

(注釈) 似紫（にせむらさき）とは青みがかった紫の事、その昔は高貴な人しか身につけられなかったそうです。

【三番】

三番は葉山に住む人の誇りを歌っています。

葉山一色には雄々しくそびえる松に囲まれ、静かに佇む御用邸があります。そんな、風景、気候に恵まれた葉山に住む人々の誇りを歌っています

(注釈) 「まほろば」の意味は「素晴らしい場所」「住みやすい場所」「理想郷」です。